

教育学習支援検討特別委員会事例報告会

「伝統的な図書館を超える図書館活動 —学修支援の実際—」

プログラム

日 時 平成26年2月12日(水) 13:00～17:30
会 場 筑波大学東京キャンパス文京校舎134講義室
主 催 国立大学図書館協会

- 12:00 受付
13:00 開会
佐野 充 (名古屋大学附属図書館長)
13:05 本報告会の趣旨説明及び小委員会活動報告
岡部 幸祐 (名古屋大学附属図書館情報サービス課長 教育学習支援検討特別委員会事務局)
13:25 ラーニング・コモンズに関する文献調査報告
野村 正人 (広島大学図書館図書学術情報普及グループリーダー)
13:35 高等教育における情報リテラシー基準検討状況報告
鈴木 宏子 (北海道大学附属図書館利用支援課長)
13:45 北米の学習支援活動の考え方と実際—イリノイ大学から
講師 リサ・ヒンクリフ氏 (Lisa Janecke Hinchliffe)
Coordinator for Information Literacy Services and Instruction
Professor University Library
University of Illinois at Urbana-Champaign
15:00 休憩及びパネル展示 (会場前ホールにて事例調査に基づくパネル展示を行います。受付後開会までの時間にもご覧ください。)
15:30 学修支援実践事例報告及び討議 — 図書館サービスの革新に向けて
千葉大学、お茶の水女子大学、新潟大学、名古屋大学、広島大学、国際基督教大学 (予定)
17:10 まとめ
リサ・ヒンクリフ氏、酒井清彦 (名古屋大学附属図書館事務部長)
17:25 閉会
加藤 信哉 (筑波大学附属図書館副館長)
-

※イリノイ大学リサ・ヒンクリフ氏の講演には通訳を準備しております。

また、Ustreamでのライブ配信を予定しています。

※18時より茗溪会館(会場より徒歩5分)で情報交換会を予定しています。会費は5,000円の予定です。